

平成28年度資金収支状況について

1 資金収支

平成28年度における歳計現金等（歳計現金と雑部金）の残高は、年度当初が145億5千8百万円、平成29年3月末では206億7千万円であった。

その間、歳計現金等の残高は安定的に推移をし、一日あたりの最高残高が206億7千万円、最低残高は31億1千百万円であったため、繰替運用及び一時借入れを実施する必要は生じなかった（表1参照）。

表1 一日あたりの歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
最高額	14,176	22,634	20,670
最低額	2,116	5,491	3,111

2 基金運用

平成29年3月末現在における積立基金の残高は、約617億円であり、前年同期に比べ、約71億円の増となっている。

平成25年4月から開始された大規模な金融緩和政策によって市場には大量の資金が供給され続けるなか、平成28年2月より実施されている日銀のマイナス金利政策の影響は非常に大きく、現在においても金融機関の定期性預金金利及び債券利回りは極めて低い水準となっている。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性と流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、平成28年度の運用益は6千万円、運用利回りは0.10%となった（表2参照）。

表2 積立基金運用益比較

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年度末残高	42,055,559,974円	54,610,074,682円	61,726,608,715円
運用益	79,737,802円	81,971,912円	60,523,321円
運用利回り	0.19%	0.15%	0.10%

表3 積立基金別の運用種別 (平成29年3月31日現在)

(単位:円)

基金名	残高	運用種別		
		普通預金	債券	定期性預金
財政調整基金	25,663,867,000	2,095,867,000	500,000,000	23,068,000,000
社会福祉施設整備基金	3,648,040,000	5,040,000	0	3,643,000,000
減債基金	3,106,206,905	6,206,905	200,000,000	2,900,000,000
義務教育施設整備基金	17,325,726,000	17,726,000	0	17,308,000,000
平和基金	100,980,048	1,000,048	99,980,000	0
区営住宅整備基金	1,070,034,000	42,034,000	0	1,028,000,000
介護給付費準備基金	2,022,513,602	277,513,602	0	1,745,000,000
道路・公園整備基金	1,560,068,000	68,000	0	1,560,000,000
まちづくり基金	7,178,278,090	8,278,090	0	7,170,000,000
区民公益活動推進基金	586,351	586,351	0	0
環境基金	50,308,719	12,308,719	0	38,000,000
計	61,726,608,715	2,466,628,715	799,980,000	58,460,000,000